

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		放課後子ども教室事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	生涯学習課	担当者名 渡辺紀子
	基本事業	59	地域における子育て支援	所属班	生涯学習班	(内線) 1504
				法令根拠	熊本県放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要項 合志市放課後子ども教室運営委員会設置要綱 西合志第一小学校 放課後子ども教室実施要項	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	10	5	7	10599			コスト削減優先度評価結果	6*21

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成19 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
西合志第一小学校の児童を対象に、放課後の安全な居場所づくりを目的として、学習活動や体験活動、地域住民との交流などの取り組みを実施する。

【業務の流れ】
毎週木曜日には学校の空き教室、土曜日には共生文化会館を利用し学校の教職員または地域の講師により、学習補充活動や文化活動、様々な体験活動を実施する。

【主な予算費目】
報酬、報償費、旅費、消耗品費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度に同じ	
①運営委員会		
②コーディネーター打ち合わせ会議		
③教室の開催(毎週木曜日、毎月第1・3・5土曜日)		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	ア 放課後子ども教室の実施回数	回
	イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
西合志第一小学校の全児童	ア 西合志第一小学校児童数	人
	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
児童の放課後の安全な居場所を作る	ア 教室に参加した児童(延べ人数)	人
	イ	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
子どもたちが地域社会の中で育まれる	ア 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合	%
	イ	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画		
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	目標(目標)	目標(予定)		年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円		144	169	136	175	175	175	総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	
		都道府県支出金	千円		144	169	136	175	175	175		
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
		一般財源	千円		145	170	136	175	175	175		
	(A) 事業費計	千円		0	433	508	408	525	525	525		0
	うち指定経費	千円										
	うち時間外、特殊勤務手当	千円										
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1		1
	延べ業務時間	時間		250	250	250	250	250	250	250		
	(B)人件費計	千円		0	995	995	995	995	995	995		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	1,428	1,503	1,403	1,520	1,520	1,520	0	

活動指標	ア 回		38	35	35	43	43	43	43	総合 計画 数値 22 年度
対象指標	ア 人		95	96	96	96	96	96	96	
成果指標	ア 人		650	650	753	750	750	750	750	
上位成果指標	ア %		49.7	37.1	47	34.2	46	45	45	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成19年度、国が新たに放課後子どもプラン事業を創設した。合志市では、市内の小学校のうち学童保育事業を行っていない西合志第一小学校で、新規に「放課後子ども教室」を開設することになった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
地域で取り組む子育ての事業として、文科省の委託事業で「地域子ども教室」が平成16年度~18年度行われていたが、その終了後、新たな文科省の補助事業として「放課後子ども教室事業」に取り組むことになった。
また従来の厚労省補助事業である「放課後児童育成事業(学童クラブ事業)」との連携協力も求められることになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
「子どもの居場所作り」が第一目的である。そのため、参加人数が多いに越したことはないが、できるだけ定期的に行って、続けていくことが肝要である。

事務事業名	放課後子ども教室事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 地域における子育て支援の事業であり、子どもを見守り、育てる地域づくりという施策と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 放課後における児童の安全な居場所づくりには、学校や保護者の協力を得ながら、行政の主導で行う必要があるため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 現時点では、対象・意図共に適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地域住民の介入をさらに促すことで、地域全体で子どもを見守るという成果の向上が期待できる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 地域における子育て支援の施策推進が後退する。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 第一小学校での放課後児童育成事業(学童クラブ)が始まれば、これに替わることができるのではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 放課後児童育成事業(学童クラブ)事業への転換や、第一小で行っていたわくわく木曜教室への統合。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 地域ボランティアの協力を募り、講師謝金をできるだけ節減することで事業費削減につながる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 土曜日開催の教室では、職員の時間外勤務手当を要するため、出来るだけ平日開催にすることで、人件費削減につながる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 放課後子ども教室においても、受益者(教室参加者)からの一部負担を求めることもあり得る。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>②有効性: 地域住民との交流をもっと取り入れると一層よかった。 ③効率性: 地域ボランティアの登用があまりできなかった。また、近隣で行われる類似事業との連携が取れていなかった。 ④公平性: 受益者負担をもっと検討してみる必要があった。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後は地域ボランティアの募集や地域住民とのつながりに重点を置いた進め方を工夫する必要がある。また、他事行との連携や協働など、事業のあり方に幅を持たせることも検討課題のひとつではないか。さらに、できるだけ費用削減できるよう、ある程度受益者負担の形を作っていくことも検討すべき。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域住民への周知徹底及び協力者の募集。																									

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)